



ベアラ-非アクティブタイムアウト

- [ベアラ-非アクティブタイムアウト, on page 1](#)
- [マニュアルの変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [機能説明 \(1 ページ\)](#)

ベアラ-非アクティブタイムアウト

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

機能説明

CUPSのベアラ-非アクティブタイムアウト機能を使用すると、それぞれのベアラ-のアクティビティをモニタリングして、設定されたしきい値よりも少ないデータトラフィックを使用するベアラ-を削除できます。これにより、無線リソースをより効率的に使用できます。ベアラ-非アクティブタイマーとトラフィックのしきい値の設定は、P-GWの場合はAPNコンフィギュレーションモードで、S-GWの場合はAPNプロファイルコンフィギュレーションモードで行います。ベアラ-非アクティブタイマーは、default-bearer/primary-bearerをベアラ-非アクティブのモニタリングから除外するように設定することもできます。

CUPSのコントロールプレーンは、次のベアラ-非アクティブタイマー設定オプションをサポートします。

- `timeout bearer-inactivity [gbr | non-gbr] dur_seconds volume-threshold { downlink | total | uplink } bytes`
- `timeout bearer-inactivity exclude-default-bearer`

ベアラー非アクティブ設定に基づいて、新しいベアラーレベルの URR が作成され、ベアラー用に作成されたすべての PDR に関連付けられます。タイマーの期限切れが検出されると、ユーザープレーンはベアラーが目的のボリュームしきい値に到達したかどうかをモニターし、ベアラー非アクティブが検出された場合はセッション使用状況レポートを送信します。コントロールプレーンは、使用状況レポートを受信するとそれぞれのベアラーの削除を開始し、切断理由を「ベアラー非アクティブタイムアウト」に設定します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。